

「電気の廃棄物」問題を考えるキャンペーン 実施結果(概要)について

2009年11月24日
原子力発電環境整備機構

キャンペーンの全体像(主要施策とスケジュール)

9/ 下旬～ 10/ 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 11/ 1 2 3 4

原子力の日

広聴活動

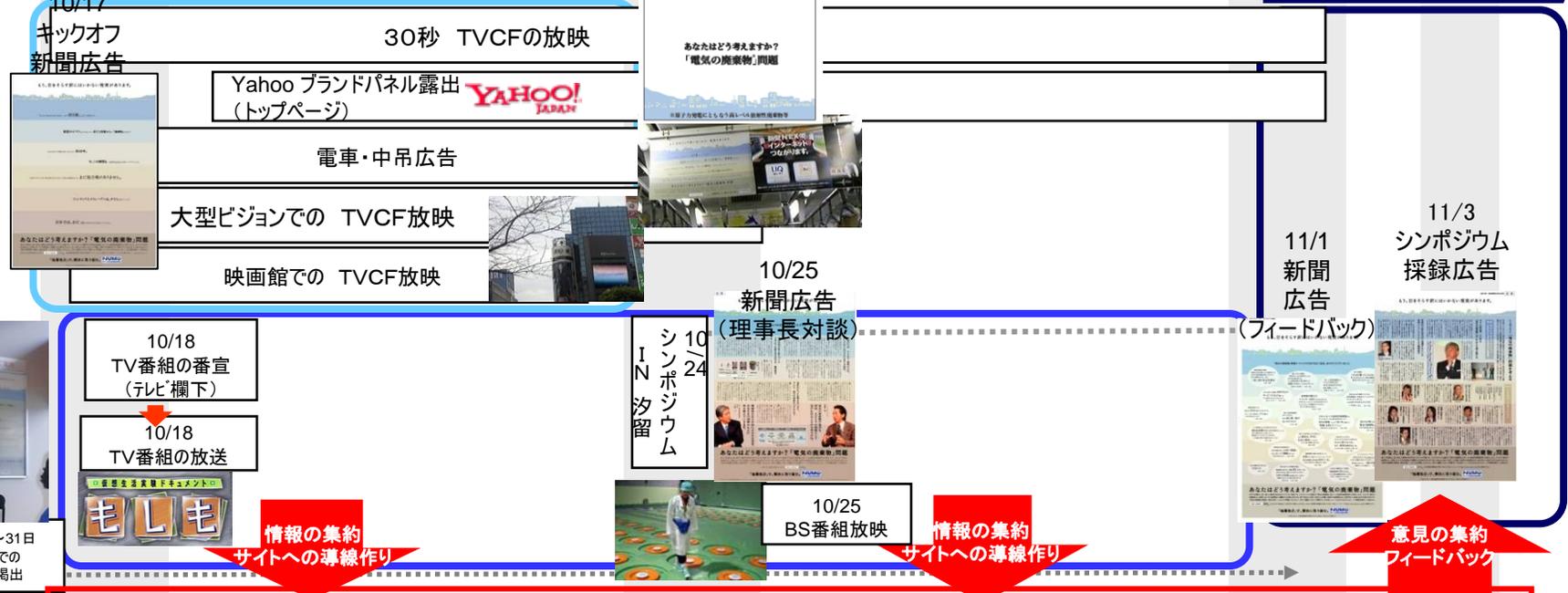
- 論説委員訪問
 - フォローアップ活動
 - 座談会/フォーラム
 - NUMO-NOTE
 - 電力PR館イベント
- ▽(ワークショップ:東京) ▽(フォーラム:大阪)
- 10/11~11/8の土日祝日に9箇所を実施

問題提起〜意見の可視化〜フィードバックのための主な活動

意見の可視化

活動の底上げ

9/30
キャンペーンリリース



10月1日~31日
郵便局での
ポスター掲出

新聞広告・TVCFを
特設サイトに掲載

みなさまのご意見を掲載

シンポジウムの概要を掲載

ティザーサイト開設

特設サイト立ち上げ→2週間に実施される様々な施策がコンテンツ化され、日ごとに特設サイトが充実していく仕組み。

※11/3以降、
NUMO本サイトに集約

10/15プレス向けセミナー開催

11/9プレス向け瑞浪ツアー開催 P.1

新聞広告・ポスター掲出等

「“7つの現実”を提起し、関心喚起を図る」

もう、目をそらす訳にはいかない現実があります。



私たちの家庭をまきえる電気、いまも約3割は、原子力発電から。

家庭から「ゴミ」が出るように、原子力発電からも、「廃棄物」が出ます。

日本が原子力発電を使い始めて、約40年。

今、この瞬間も、「放射性廃棄物」は増えつづけています。

家庭の「ゴミ」には、処分場がありますが「電気の廃棄物」には、まだ処分場がありません。

フィンランドとスウェーデンは、すでに決めています。

日本では、まだ、問題の存在を広く知られていません。

あなたはどのように考えますか？「電気の廃棄物」問題

原子力発電は、使い捨てた燃料の約85%がリサイクル可能です。このリサイクルの過程で「電気の廃棄物」(低レベル放射性廃棄物等)が発生します。これら「電気の廃棄物」は、長期にわたる供出施設から隔離する必要があります。地下300mより深い安定した岩盤に埋設する地層処分は、現在考えうる最も安全な処分方法です。「電気の廃棄物」問題は、電気を使う一人ひとりの問題。みなさんに、考えを議論してほしい問題です。NUMO(ニューモ)はみなさまとともに、この問題を解決へと進めます。あなたのご意見を聞かせください。電気の廃棄物 廃棄物 NUMO放射性廃棄物「低レベル放射性廃棄物(NUMO)」の処分(第1回) フォト：トモキヨシ(フリー) ©NUMO/NUMO

「地層処分」で、解決に取り組む。 **NUMO** 原子力発電規制庁



■日 時:10月1日(木)~10月31日(土)
 ■実 施:全国約1万局の郵便局で
 ポスター掲示

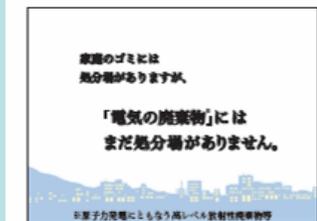
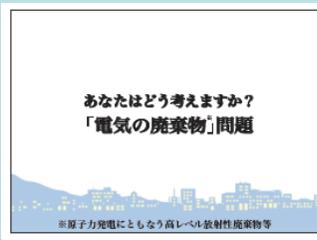


■日 時:10月17日(土)~10月27日(金)※路線によって異なる。
 ■実 施:北海道・宮城・東京・愛知・石川・大阪・広島・香川・福岡
 (各地域を中心に複数路線)

■日 時:10月17日(土)
 ■媒 体:読売新聞全国+地方・ブロック紙48紙(15段フルカラー)

郵便局・アウトドア・インターネット広告

「7つの現実」を提起し、関心喚起を図る」



TVCFコンテ案からの抜粋



■日 時:10月19日(月)~11月1日(日)
■実 施:YAHOO! JAPAN ブランドパネル



■日 時:10月17日(土)~25日(日)
■実 施:北海道・宮城・東京・愛知・福井・大阪・広島・香川・福岡・沖縄



■日 時:10月17日(土)~10月23日(金)
■実 施:北海道・宮城・東京・愛知・富山・大阪・広島・愛媛・福岡・沖縄(計104スクリーン)

■日 時:10月17日(土)~10月25日(日)を中心に期間中
■媒 体:日本テレビ/フジテレビ系列の全国各局中心に展開

地上波・衛星放送での特別TV番組

「地層処分」に関する情報提供

地上波放送



伊藤利尋アナウンサー



中野美奈子アナウンサー



くわばたりえさん
(クワバタオハラ)



田代 さやかさん

- 日時：10月18日（日）22:00～23:15
- 媒体：フジテレビ系列26局ネット
- ※10月24日（土）：青森県、大分県
- 10月25日（日）：宮崎県

■ 番組名：
『仮想生活実験ドキュメント もしも』

■ 概要

タレントのくわばたりえさんと田代さやかさんが、徐々に電気が使えなくなるという仮想生活実験をとおして、省エネの意義や電気の利便性を体感。原子力発電の有用性や地層処分にまで言及。

視聴率：10.4%（関東平均：ビデオリサーチ調べ）

衛星放送



女性アシスタント
木佐 彩子

男性パーソナリティ
野口 健



- 日時：10月25日（日）17:00～17:55
- 媒体：BSフジ

■ 番組名：
『野口健と考える エネルギーの未来と地層処分』

～次世代のために、いま、取り組むべきこと～

■ 概要

地層処分の必要性や安全性、処分場のイメージから海外における最新情報など、地層処分の「今」、そして「これから」がわかる特別番組を放映。

シンポジウム

有識者の議論を通じて「電気の廃棄物」問題を考える

■日 時:10月24日(土)16:00~

第1部 スペシャルトーク



みの もんた氏

朝の顔 みのもんたが、山名先生とのトークセッションを通し、エネルギーの話題に鋭く切り込み、わかりやすい内容で展開。地層処分についても、自分たちのこととして考えるべき、といったメッセージを発信。



山名 元氏
京都大学原子炉研究所

第2部 パネル討論

コーディネーター



鳥井 弘之氏
元東京工業大学教授

パネリスト



渡田 淳江氏
WEN代表



井川 潤次郎氏
読売新聞 論議委員



長崎 晋也氏
東京大学教授



ビエール=イヴ・コルディエ氏
仏大使館原子力専務官



河田 東海夫
NUMO理事

事業者であるNUMOはもとより、国民の皆さまや国、電力が何をすべきか、といった議論を通して、『電気の廃棄物問題』を自分のこととして考えていただく。

■参加者:210名(ほかマスコミ関係者19名)

■会場アンケート結果(来場者のうち一般応募100名を対象)

- ・『電気の廃棄物』問題は、自分の問題である。 : 89名/100名
- ・『電気の廃棄物』問題は、我々の世代で解決するべきである。 : 80名/100名
- ・『電気の廃棄物』問題を解決する「地層処分」が必要である。 : 86名/100名
- ・地層処分は安全に実施できる。 : 48名/100名
- ・自分の町が地層処分地に立候補しても冷静に受け止めて考えることができる。 : 77名/100名

もう、目をそらす訳にはいかない現実があります。

シンポジウム「電気の廃棄物」問題を考える

「電気の廃棄物」は、自分たちの問題である。89名/100名が回答した。また、「電気の廃棄物」問題は、我々の世代で解決するべきである。80名/100名が回答した。さらに、「電気の廃棄物」問題を解決する「地層処分」が必要である。86名/100名が回答した。地層処分は安全に実施できる。48名/100名が回答した。そして、自分の町が地層処分地に立候補しても冷静に受け止めて考えることができる。77名/100名が回答した。

あなたはどのように考えますか? 「電気の廃棄物」問題

「地層処分」で、解決に取り組む。 NUMO

シンポジウム採録広告

■日 時:11月3日(祝・火)
■媒体:読売新聞全国
(15段フルカラー)

特設サイト・みなさまからのご意見

「電気の廃棄物」問題に関する詳細な情報を提供するとともに、キャンペーンの様々なコンテンツをご覧いただける特設サイトの設置

特設サイトトップページ



7つの現実詳細情報 および意見投稿ページ



特設サイトに寄せられた
ご意見をご覧いただける
ページ

- 日 時: 10月17日(土)~11月3日(火・祝)
- シンポジウムの概要などの様々な施策に関するコンテンツや情報を掲載。
- キャンペーン期間中、「電気の廃棄物」問題に関するご意見を募ったところ、600件を超えるご意見をいただきました。いただいたご意見については、随時特設サイトにて紹介。

地層処分の必要性と安全性など、具体的な情報を発信する理事長対談広告 皆さまからいただいた意見を世の中にフィードバックする「意見集約フィードバック広告」

理事長対談広告

もう、目をそらす訳にはいかない現実があります。

対談:電気の廃棄物と地層処分を考える

環境のため、エネルギー確保のため、
あらためて注目される原子力発電。

世界各国が取り組んでいる
今考えるべき新たな方法、地層処分。

地層処分は、わが国に不可欠な事業。
みなさまの理解のもとに
取り組んでいきます。

電気の廃棄物の現実を、
国民一人ひとりの問題として
受け止めることが大事ですね。

あなたはどうか考えますか? 「電気の廃棄物」問題

原子力発電は、使い終わった燃料の約95%がリサイクル可能です。このサイクルの過程で「電気の廃棄物」(高レベル放射性廃棄物)が発生します。これらの「電気の廃棄物」は、長期的に安全な形で隔離する必要があります。地下300mより深い安定した岩盤に埋設する地層処分は、現在考えられる最も安全な処分方法です。「電気の廃棄物」問題は、電気を使う一歩の先の問題。みなさんに、考えを届けてほしい問題です。NUMO(ニー)はみなさまとともに、この問題を解決へと進めます。

あなたのご意見をお聞かせください。電気の廃棄物

「地層処分」で、解決に取り組む。NUMO
原子力発電推進機構

意見集約フィードバック広告

もう、目をそらす訳にはいかない現実があります。

あなたのお考えも、お聞きしました。

あなたはどうか考えますか? 「電気の廃棄物」問題

「意見集約」で、賛成に寄り進む。NUMO

「電気の廃棄物」問題

01 賛成に反対。
02 エコカーや自動車が普及しない
03 費用を誰まで負担する
04 地層に忠実な処分方法
05 費用は国民全体で負担
06 賛成に反対
07 賛成に反対
08 賛成に反対
09 賛成に反対
10 賛成に反対
11 賛成に反対
12 賛成に反対
13 賛成に反対
14 CO2削減のためにも
15 賛成に反対
16 賛成に反対
17 賛成に反対
18 賛成に反対
19 賛成に反対
20 賛成に反対

■日時:10月25日(日)
■媒体:読売新聞+地方・ブロック紙48紙(15段フルカラー)
■対談相手:蟹瀬 誠一氏

■日時:11月1日(日)
■媒体:読売新聞+地方・ブロック紙48紙(15段フルカラー)
キャンペーン特設サイトにいただいたご意見から賛成・反対を
問わず選び掲載

電力会社 PR館における実験イベント

電力会社PR館において、NUMO職員による体感実験を開催

実験の様子



■実験概要

ご来場の方々を対象に、「ベントナイトの水を通しにくい力」を体感できる簡単な実験を各地PR館で展開。

多重バリア模型ご説明の様子



■日時:10月11日(日)~11月8日(日)の土日祝日に開催

■北海道電力	とまりん館	101名
■東北電力	女川原子力PRセンター	60名
■東京電力	電力館	59名
■中部電力	でんきの科学館	175名
■関西電力	大阪科学技術センター	60名
■北陸電力	エネルギー科学館ワンダーラボ	49名
■四国電力	伊方ビジターズハウス	90名
■中国電力	広島市こども文化科学館	84名
■九州電力	九州エネルギー館	108名

合計 786名
(参加人数)